

会 議 録

令和 6 年 2 月 14 日作成

会議名	第3回 木更津市農業振興推進委員会		
開催日	令和 6 年 2 月 13 日(火)	場所	木更津市役所駅前庁舎
時 間	午後 1 時 30 分から		8階防災室・会議室
出席者	委員 立崎政男 榎本かおり 石渡 肇 石渡和美 宮崎孝行 林 正巳 金子一夫 岡本 勇 碓井 宏 川崎修吾 荒井 仁 市側 伊藤昌宏 大岩房之 黒川克明 栗原由和 畑野高広 緒形 隆澄 大池 峻吾(株流通研究所)		
議 題	(1)第3次木更津市農業振興計画案について (2)木更津市農業振興計画アクションプランについて (3)今後の日程について (4)その他		
公開・非 公開の別	公 開	非公開理由	—
傍聴人	なし		
概 要	下記のとおり		

(概要)

事務局

お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

事務局を務めます農林水産課の畑野でございます。

本日は、第3回目の木更津市農業振興計画策定に係る委員会にお集まりいただきました。

短時間で充実した委員会になりますようご協力をお願いいたします。

本日、ご協議いただく委員会次第、資料につきましては、事前に確認をしていただくため、お送りさせていただき、本日お持ちいただくようお願いいたしました。資料をお持ちでない方はいらっしゃいますでしょうか。

(資料持参を確認)

事務局から書類の差替えをお願いします。

委員会の次第につきまして、本日議題3件でお願いしておりましたが、その他で説明予定の今後の日程についてを 議題3とし、その他を議題4としましたので、差替えの次第をお席にお

配りましたので、よろしくお願いします。

併せて、資料4も一部修正がございましたので、併せてお配りしておりますので、確認をよろしくお願いいたします。

それでは、第3回木更津市農業振興推進委員会を始めさせていただきます。

前回に続き、本計画策定業務を委託しております、株式会社流通研究所の大池主任研究員が出席しておりますので、よろしくお願いいたします。

本日の出席者名簿はお席に配布させていただきましたのでご確認をお願いします。

初めに立崎委員長からご挨拶申し上げます。

立崎委員長

(あいさつ)

事務局

ありがとうございました。

会議に入る前にご報告申し上げます。

この委員会につきましては、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例3条に基づき、公開することとなっております。

本日の傍聴人はおりません。

また、会議録作成のため、会議内容を録音させていただきますので、予めご了承ください。

また、ご発言の際は、お手元のマイクのボタンを押し、発言後はもう一度ボタンを押して、マイクをオフにいただきますようお願いいたします。

それでは早速議題に入りたいと思います。

本委員会の議事進行は、木更津市農業振興推進委員会設置要綱第5条第1項の規定により、委員長が務めることになっておりますので、立崎委員長にこれからの議事進行よろしくお願いいたします。

立崎委員長

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、議事進行にご協力をよろしくお願いいたします。

はじめに、本日の出席委員数は 11名で、過半数以上の委員出席がございましたので委員会は成立となります。

それでは、議題1 第3次木更津市農業振興計画案について を議題に供します。

事務局から説明をお願いします。

事務局

農林水産課の課長しております黒川でございます。

初めに、昨年 10 月の第 2 回委員会後の経過をご説明させていただきたいと思います。

着座にてご説明いたします。

資料 1 をご覧ください。

10 月 23 日の委員会でご意見等をいただき、12 月 7 日に木更津市議会建設経済常任委員会協議会で 12 月 13 日には木更津市議会全員協議会で説明した後、12 月 14 日から 1 月 12 日までの 30 日間、市民の皆様から意見を伺う意見公募、パブリックコメントを実施いたしました。

期間中、1 件のご意見がございました。

資料 2 をご覧ください。

ご意見の要旨として、認定農業者以外の農業者への支援について、オーガニック農業・有機農業についてと飼料用米への助成についての 3 点でございます。

このご意見に対しまして、まず、認定農業者以外の農業者への支援についてでございますが、計画案の 36 ページをご覧ください。

基本方針の 2 の多様な人材の確保・育成の項目③番、経営参画の推進のイ、地域に根差した担い手の経営発展の推進の中で、中小規模農家のニーズに合わせた個別支援を行う計画となっております。

次にオーガニック農業、有機農業についてでございますが、計画案の 22 ページをご覧ください。

昨年度実施しました農業者アンケートの調査の結果で、農業経営にあたり今後重視したい項目の中で最も多かったのが、農業所得の向上でありました。

生産資材などが増加する中、高単価で取引できる、戦略作物の選定、農産物のブランド化への取組みが課題となっていることから、有機農業を農業者の選択の 1 つとして推進し、農業者の所得向上と本市農業の振興を図ろうというものでございます。

最後に飼料用米の助成についてでございますけれども、今後作成するアクションプランの策定において、こちらの方を検討してまいりたいと考えております。

このご意見 3 項目につきましては、計画案で対応しているということ、アクションプランで今後検討する施策でありますので、計画案どおり進めさせていただきたいと考えております。

これまでのご意見を踏まえまして、最終計画案により 1 月 30 日に当委員会の部会を開催し

まして、全会一致で承認をいただいたことをご報告させていただき、本日、委員会の皆様から最終的なご意見をいただきたいと思いますと思っております。

以上が本日までの経過でございます。

それでは、計画案についてご説明をいたします。

昨年10月の第2回委員会以降、統計の数値の再確認や記述の見直し等を行っておりますが、その他につきまして変更した箇所等はございません。こちらにお示しさせていただいた計画案どおりでお願いしたいと考えております。

私からの説明は以上でございますよろしくお願いいたします。

立崎委員長

説明が終わりました。

計画案につきまして質問・意見等ありましたらお願いします。

荒井委員お願いします。

荒井委員

千葉県君津農業事務所の荒井です。

まず2ページの4の計画の位置付けとありまして、上に国、県が定める農業関連計画があります。

その中の下の方に、千葉県農林水産業振興計画がありまして、さらにその下に私ども君津農業事務所が作っております君津地域農林業振興方針というものがございます。

それを入れていただければ、連携できるんじゃないかなと思ひまして、意見させていただきます。

それと3ページの(3)、これは多分間違いだと思いますが、令和4年、(2023年)とありますが、2022年ではないかと思ひました。

先ほど始まる前に立崎委員長と市の方で調整していたと思いますが、10ページの③果実に記載のあるいちごが、野菜なのか果実なのかという議論もありますが、それがそのまま11ページのグラフで、野菜や果実の農業産出額の数字に反映されていると思いますが、私どもはブルーベリーや梨は果樹という分類にしているため、ここで敢えて果実という表現があったり、いちごは野菜だと思ったりで違和感がありました。

18ページの1 担い手の育成の表の中で、担い手の育成の集落営農組織数が、平成24年の時点では12団体あったものが、現在1団体しかないということでちょっと驚いたが、この当時の集落営農組織はもう解散したのでしょうか。

その辺ちょっと知りたかったところです。

多分この1団体っていうのは、農事組合法人上望陀の1団体のことかなと思うが、12団体あったのが1団体となり寂しいなと感じました。

次に19ページの5の環境の保全の数字の中の農地・水保全管理取組面積で、令和4年度の実績値が、1,059ヘクタールとなっています。

この数字、私どもで多面的機能支払交付金の補助を出していますが、その数字の実績は906ヘクタールだったんですね。

ですからこの1,059ヘクタールはどこから来たのかなというところで、補助金をもらってなくてもそういう活動しているものが含まれているということであればそれでいいんですけども、ちょっとこの数字が不思議だったので。

23ページにあります農産物直売施設の中で、加工品の充実ということで書かれておりますが、実は心配しているのが漬物類を製造する方々が、令和6年6月1日以降は保健所の許可を得た加工所で作らなきゃならないということになります。

現在、経過措置中で、そういうのはなくても、生産して直売所等に出荷できるのですが、それ以降はできなくなりますので、そういう漬物類、梅干しや浅漬け、糠漬けとかそういうものがちょっと減ってしまうのではないかと。

許可を取るための作業場の衛生面とかで、かなり投資しないと生産できないようになるので、ちょっと心配しているところです。

38ページの③の有害鳥獣対策の推進というところで、捕獲活動の担い手の確保に取り組めますということであるのですが、昨年12月に君津地域4市の鳥獣対策協議会の会議を持ったときに、木更津の猟友会さんが言っていたのですが、やはり猟友会も高齢化しており、今後、担い手を育てないと減る一方だという話をされていました。

その辺で、そういう担い手、若者が銃免許やわな猟の免許を取れるような研修会をぜひやっていただきたいと思います。

君津市では、やはりそういう市内で銃やわな猟をやってくださる方を育てようということで、研修会を確かやっていたかと思いますので、木更津市さんもぜひやっていただければと思います。

最近キョンが増えており、増えているって言っても全体の被害から比較すると、まだ数パーセントですが、市原市以南の市町村には、かなりいるそうでした、今後、そのキョンの対策もしていかないと、どんどん増えてしまいますので、それがちょっと心配されるところです。

立崎委員長

ありがとうございました。

事務局の方から答えられるところですか、お願いできますか。

事務局

まず2ページの方の計画につきましては、荒井委員から話がありました君津地域農林業振興方針も加えさせていただきたいと思います。

次に3ページの西暦につきましてはご指摘のとおり2022年になりますので修正をさせていただきます。

次に 10 ページの果実の中のいちごの記載については、委員長からもご連絡をいただいております、確認をしたところいちごは、分類的には野菜に入りますので、いちごの表記の方は削除させていただきます。

また 11 ページの産出額については、確認をさせていただきたいと思います。

次に 18 ページの担い手の方ですが、荒井委員のおっしゃられるとおり、現在確認されているところが上望陀の 1 件です。正直なところと言いますと前計画策定時の12団体というものの根拠というものを見つけられずに、今回修正させていただいたような形になります。

19ページの環境の保全の中の農地・水保全管理面積につきましては、農業事務所は給付面積が 906 ヘクタールということですので、確認させていただきたいと思います。

23ページの加工品の漬物の件は、情報として聞いておりますので、懸念されるような形で今後、かなり減ってくるのではと危惧しているところでございます。

あと有害鳥獣の担い手育成の研修会等について、お話をいただきました。

本市の方では担い手の確保というところで行っているものとしては、わな免許等の取得の補助というお金の部分では行っていますが、実際そういう研修会等を行っておりませんでしたので今後検討していきたいと思います。

立崎委員長

荒井委員よろしいですか。

荒井委員

はい。

立崎委員長

その他、ご意見、ご質問等ございましたらお願いしたいと思います。

立崎委員長

荒井委員お願いします。

荒井委員

P36から P37にかけて、取組みの地域に根差した担い手の経営発展の推進の中で、補助事業の創設、スマート農業関係ということで、書かれているのですが、市単独での構想なのか、あるいは県単事業でも、輝け！千葉の園芸次世代産地整備支援事業があり、その中のメニューの中にもスマート農業等ということでありますのでそれらを活用しながら市としても、プラス補助金を加算するとか、そういう考えなのか、もし方向性が決まっていたら教えてください。

事務局

今のご質問の回答ですが、県単や国の補助事業への上乗せという部分も含めて市の新規事業も含めて両方の方向で検討していくというところで、実際には市単独で今上乗せをしている県単の事業等もございますが、そういった形で拡充というところや今までにない補助事業というところも含めて検討していきたいと思っております。

立崎委員長

ありがとうございました。

その他、ご意見ご質問がありましたらお願いをしたいと思います。

よろしいでしょうか。

それでは荒井委員の方からご意見をいただきまして、意見のあった細部の修正は、事務局をお願いをするとして、本計画案について承認するというので、ご異議はございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

立崎委員長

それでは異議なしと認め、計画案を承認させていただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

次に、議題 2 木更津市農業振興計画アクションプランについて を議題に供します。

事務局から説明をお願いいたします。

事務局

それでは続きまして議題2のアクションプランについてのご説明をさせていただきたいと思っております。

ご承認いただきました第3次木更津市農業振興推進計画案の各年度における事業の具体的な計画として、「木更津市農業振興アクションプラン」を別途策定し、各年度における事業の

実施状況や指標の達成状況等を木更津市農業振興推進委員会で進行管理を毎年度実施していくこととしております。

資料3 をご覧ください。

ご承認いただいた計画案の P31 から P39 の取り組みについて、担当課、目標、新規、拡大、継続の区分、令和6年度から10年度の事業をそれぞれ現状と目標を掲げたアクションプランを作成してまいります。

計画どおり進めているか、進めていないのかがわかり、課題等を整理しながら、農業振興を推進してまいります。

委員の皆様には、毎年度1回ご出席いただき、ご意見等をお願いします。

アクションプランにつきましては、令和6年5月頃に当委員会でご審議いただきますのでよろしくお願い致します。

私からの説明は以上でございます。

立崎委員長

説明が終わりました。

ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等ありましたらお願いをしたいと思います。

はい、宮崎委員をお願いします。

宮崎委員

先ほど資料 2 で意見公募の中で意見があった飼料用米の助成金について、アクションプランで検討しますという回答だったんですけども、このアクションプランの中には、記載がないが、どこに入っているのか。

事務局

この資料3については、委員の皆さんにアクションプランがどういうものかということをイメージしていただくために、仮に作ったものでございます。

飼料用米の助成につきましては、取組に加えるのか、加えるのであればこういった形になるかというのは、これから検討させていただきたいと考えております。

立崎委員長

その他、ご質問ご意見等ありましたらお願いをしたいと思います。

よろしいでしょうか。

その他質問がないようですので、質疑は終了をさせていただきたいと思います。

毎年度の進捗管理を行うため、アクションプランを作成していきますので、皆様には引き続

きよろしくお願いいたします。

次に、議題 3 今後の日程について を議題に供します。

事務局から説明をお願いいたします。

事務局

議題 3 今後の日程についてでございますが、資料4をご覧ください。

ご承認いただきました計画案の最終確認を行い、3月末までに策定、公表の予定で進めてまいります。

先ほどご説明いたしました木更津市農業振興推進計画アクションプラン案を令和6年5月までに作成し、令和6年5月に当委員会を開催し、ご意見を伺い、令和6年6月に策定・公表いたします。

計画の進行管理として毎年1回、当委員会を開催し、前年度の結果、本年度の計画等をご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

私からの説明は以上でございます。

立崎委員長

ありがとうございました。

説明が終わりました。

ただいまの説明につきまして、ご質問ご意見等ありましたらお願いをしたいと思います。

何かご質問ご意見等はございますでしょうか。

一つ私の方から質問させていただきます。最終的に 3 月末に木更津市農業振興計画が策定されて公表される予定ですが、一般市民に対する公表方法は、ホームページですとか、どのような形でやられるのか。委員や農業団体については、例えば冊子を配布するのか、公表方法を教えていただいてよろしいですか。

事務局

策定公表につきましては、計画書の冊子を作る予定でございますので、委員の皆さんをはじめ各関係機関の方にお配りをさせていただきたいと思っております。

また、一般農業者や市民につきましては、市ホームページ等で公表をさせていただきます。

なお、農業者につきましては、機会あるごとにお時間をいただいて新しい農業振興計画を説明する機会等を設けていきたいと考えております。

立崎委員長

ありがとうございました。

それでは質問ご意見ないようですので質疑は終了させていただきたいと思います。

次に、議題 4 その他でございますけれども、事務局からございますか。

事務局

ございません。

立崎委員長

その他、委員の皆様から何かございますか。

よろしいですか。

それでは無いようですので、以上で、本日の議題は終了となります。

それでは進行を事務局の方にお返ししたいと思います。ありがとうございました。

事務局

立崎委員長 議事進行ありがとうございました。

今後のスケジュールについては、黒川からご説明申し上げたとおり3月に第3次木更津市農業振興計画の策定・公表を予定しております。

また、計画の実行プランであります「アクションプラン」案を今後作成し、5月をめどに委員の皆様のご意見等をお伺いする木更津市農業振興推進委員会を開催したいと考えております。改めてご案内申し上げますのでよろしくお願いします。

以上をもちまして、第3回木更津市農業振興推進委員会を終了といたします。

ありがとうございました。

令和6年2月 15 日

木更津市農業振興推進委員会委員長 立崎 政男